



ARCHTECTURE REVIEW



建築見て歩記 その103

倉俣史郎の作品「ブリジストン本社」(1986年)と「ピアチェーレ」(1988年)です。家具プロダクトデザインが注目されがちですが、インテリア作品も記録に残して欲しいと思います。消滅前に幾つかの作品を体感できた事は、自分自身の貴重な財産です。



CURRENTLY WORKS



アケボノが考える「医療モール」… 患者さんファーストの徹底日々の動きの中でいろいろな縁がつながり、幾つかの「医療モール」の企画・計画を進めています。患者さんに「身体に元気を！ 心に活力を！ 頭に健康の知識を！」与えられるような施設を目指し、単にお医者さんの集合ではない、テーマ性を持たせた「医療モール」を企画しています。そこでは、患者さんの癒しを考えたインテリアも研究・提案しています。

PRIVATE TOPICS



岡島の「医療への想い」・・・ 自由診療 [自費診療] という選択肢 [自由診療] がますます注目されています。美容医療の急成長・男性向け美容の市場拡大・アンチエイジング・再生医療への注目・予防医療の広がり・メンタルヘルス領域・保険診療との均衡など注目ポイントは枚挙に暇がありません。今回は、自由診療についてもう少し深掘りしリニューアルとどのような関係があるのかを紐解きます。お楽しみに…

EDITORIAL NOTE

2月には「初午 (はつうま)」があります。2月の最初の午の日で、今年は2月6日になります。由来は穀物の神様が稲荷山に降臨した日が、711年2月の最初の午の日だった事です。以来、伏見稲荷神社では「大祭」が行われ、神の使いであるキツネに因んで、縁起物の稲荷ずしを頂くようになったようです。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島